

学校教育目標

さくらとおう よい子ども

*美しいさくらの花のように生き生きとした魅力が内面からあふれ出ている素晴らしい子ども

○よく学ぶ子ども

- ・話をきちんと聴くことができる子ども
- ・自分の考えをもつことができる子ども
- ・自分の言葉で自分の考えを表現できる子ども
- ・学ぶことは楽しいと感じる子ども

○心かがやく子ども ○正しく強い子ども ○ふるさとを愛する子ども

研究目標

国語科において、児童の自ら考え学ぶ力の育成につながることを授業実践を通して明らかにする。

研究主題

自ら考え学ぶ力をもった児童の育成

*自ら考え学ぶ力（※動機づけ・学習方略・メタ認知）

=児童自らが意欲をもって、自己の学びの変容に気づき、自分自身をよりよくしようと学んでいく力

研究副主題

国語科における子供主体の授業づくりを通して

*子供主体の授業

=子供一人ひとりの興味や関心を踏まえ、個性に応じた学びを実現するために、多様な他者と協働したり、自己調整したりして学習を進める授業。

研究内容

子供主体の授業における、指導の工夫を研究する。
特に下の3つの学習過程（場面設定）に注目する。

子供が学習課題を 選択・決定する 場面の設定

キーワード

- ・初発の感想
- ・問い
- ・目的意識（相手意識）
- ・並行読書

子供が学び方を 選択・決定する 場面の設定

キーワード

- ・学習ツールの自己選択
- ・学習形態の自己選択
- ・学習ペースの自己選択
- ・他者参照
- ・学習環境の工夫

子供が自らの学習を 振り返る 場面の設定

キーワード

- ・振り返りシート
- ・ルーブリック

自ら考え学ぶ力をもった児童の育成が求められる背景／子供主体の授業づくりが求められる背景

児童の実態を踏まえて

- ◆児童の多様化
- ◆自分の考えをもち、それを表現することに課題があった。（令和6年度児童アンケート結果 項目1、項目2より）
- ◆「目的に応じて、文章や図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つける」設問の正答率に課題があった。（令和7年度実施全国学力学習状況調査）

社会的背景を踏まえて

- ◆VUCAの時代
 - ・変動性（Volatility）
 - ・不確実性（Uncertainty）
 - ・複雑性（Complexity）
 - ・曖昧性（Ambiguity）
- ◆Society5.0

山梨県教育大綱（山梨県教育振興基本計画）を踏まえて

- ◆基本方針Ⅰ 子供主体の授業への教育観の転換
- ◆施策の方向性（Ⅰ）自立した学習者の育成